

名古屋

情報は名古屋デスクへ

TEL 052(561)5212
FAX 052(561)5207

購読のお申し込み
☎ 0120-605-123
10時~18時
(日・祝日除く)

WEBでのお申し込み
<http://www.chukei-news.co.jp>

不動産賃貸仲介・管理・売買
名古屋の部屋探し

お部屋探しCAFE
へやぎめ!
☎ 052-433-3131

前田鉄工所の本社工場名古屋市中川区

自動車部品、農業機械部品の加工を手掛ける前田鉄工所(本社名古屋市中川区東起町、前田孝文社長、電話052・381・4095)は、海外展開を加速する。ベトナムとタイで、農業機械のトランスミッションに使われる歯車の販売を強化する。販路を確保し軌道に乗った段階で、工場進出も検討する。3年後をめどに、現在1割に満たない海外の売上高構成比を3割まで引き上げたい考え。

前田鉄工所 海外展開を加速

ベトナム、タイ照準

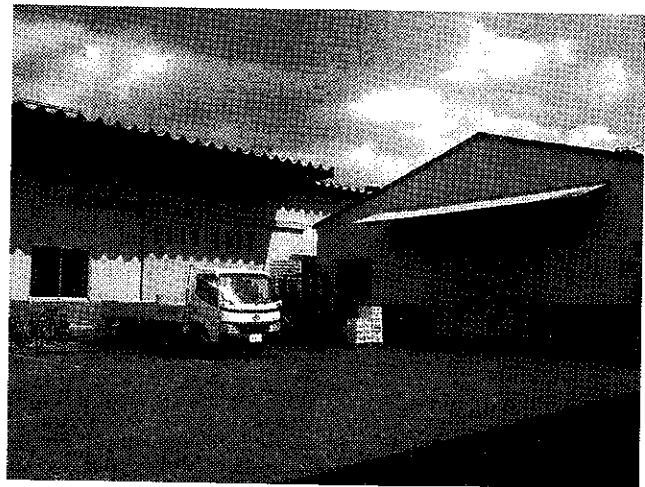
農業機械用の歯車拡販



前田孝文社長

前田鉄工所の2014年9月期の売上高は約9億円の見込み。そのうちの85%は、自動車や農業機械のトランスミッションに使われる歯車の加工。海外向けでは、マレーシアへ自動車用を、ベトナムには現地企業1社に農業機械用の歯車を輸出している。

乗り出すことにした。約3年前から日本貿易振興機構(ジェトロ)の支援を受け、ベトナム全域とタイ・バンコク周辺の農業機械の市長調査を行ってき



タオルなどに新ブランド

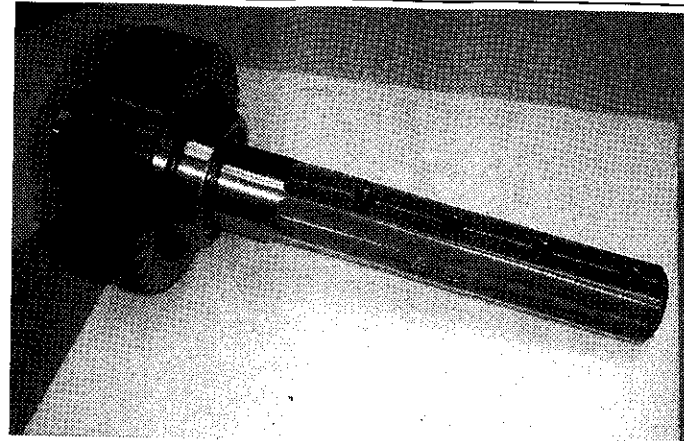
マルシュー国産ガーゼで差別化



新ブランド「めんぶますだ」の商品を手にする増田社長

純、増田和久社長。電話052・901・1996。は近々、天然のガーゼ客からの受注に左右されやすいこともあり、約10年前から天然素材にこだわった

繊維加工のマルシューで編んだタオルやハンカチ(本社名古屋市中川区楠味)など、自社商品の新ブランド



ベトナムへ輸出している農業機械用歯車。国内の自動車市場が縮小傾向にあること、ベトナムやタイの農業機械市場が拡大傾向にあることから、ベトナムとタイで農業機械用の歯車の拡販に

シートやドアトリムなど自動車の内装材を主力事業とするセーレン(本社福岡県)。同事業を担う車輛資材部門は、名古屋支店(名古屋市中)にある。その部門長と支店長を兼務するのが上山公一さん(53)



セーレン車輛資材部門部門長兼名古屋支店長
上山 公一さん
(うえやま・こういち)



「海外完成車メーカーへの拡販に力を入れる」と話す上山さん

だ。上山さんは、セーレン入社とともに車輛資材部門に配属された。配属当時は同部門の草創期だった。「名古屋支店は現在社員が400人以上の大所帯だが、入社当時は20人程度だった」と振り返る。営

シート材世界シェアアップへ

業に回ると同時に自ら糸を調った。苦労したが貴重な経験達したり工場を編んだりになった」と懐かしむ。新参者で工場に足を運んで「邪魔者扱い。夜中にこっそり行って設備を動かしていたら、壊してしまったこともあった。エアは15%に上っている。上

山さんは「さらに世界シェアを高めたい」と意気込みをみせる。シェアアップに向けて「軽量で傷つきにくいクオーレ」の販売を強化する「考えだ。加えて、1600万以上の色を表現できる繊維製品製造システム「ビスコテックス」も活用。すでに日系完成車メーカーに加え海外完成車メーカーへの拡販を進め、独フォルクスワーゲンや米フォードと取引を始めている。

あつた。開通区間は、六番北の3.9km。これにより屋高速道路は全線が開伊勢湾岸自動車道、各名阪自動車道、東名高速名神高速道路など周辺

若いスタッフの「やる気」が後押し



「若う声に押し出す専門店」から、オーダーがパターンのことに「少したップの意欲。〇:オーダーたもつとつンで、ジャケく人が増えて

ロビー

歯車を迅速に供給できる制も整えたい」方針で「海外事業を拡大して、内市場縮小に対応できる制を築きたい」と話して

日本製の寝具や雑貨など自社商品をインターネットで売り始めた。現在、小売店の卸を含めた商品販売は、売上高全体の7割を

今回投入する新ブランドの名称は「めんぶますだ」大人向けの「ガーゼの体き」(1800円)、乳向けの「ハンカチガーゼ」(380円、2枚入り)

企業展やステージイベントなど多彩
来月6日金チャ
BNIチャプター

東海地方の企業75社で構成する異業種交流団体「ハシャチBNIチャプター」は9月6日、名古屋市内の日本ガイシフォーラム

名古屋高速道路公社
2013年11月に「4号東海線」の6カ通量の変化などをまと行する3号大高線の渋が大幅に減少するなど